

事後評価シート

| | |
|--------------|--|
| 調査研究課題名 | E Uにおける都市政策の方向性とイタリア・ドイツにおける都市政策の展開 |
| 担当者 | 頼 あゆみ 柴田 翼 |
| 当初目標と目標達成度 | <p>都市再生に先駆的に取り組んでいる EU 諸国のイタリア・ドイツ両国における都市政策の展開について調査分析を行うことにより、我が国の都市政策の立案への示唆を得ることを目標とする。</p> <p>我が国の都市政策が参考とすべき視点等について整理することができ、当初の目標は達したと考える。さらに、両国の先駆的な視点や課題を、我が国の都市政策に取り入れる際の問題点について、現行制度や社会経済条件の相違を踏まえた分析ができればさらに良かった。</p> |
| 調査研究内容の妥当性 | <p>我が国同様、都市の衰退、郊外への拡散を経験している、調査事例が少ない等の視点から、現地調査先としてイタリア及びドイツを選択したことは妥当であった。また、両国の都市政策に影響を与える EU の都市政策については、まとまった文献も少なく、研究対象として妥当であった。</p> <p>さらに、イタリアの調査対象都市については、南北問題の現状を把握するために南部の都市も選択できればよかった。また、イタリア・ドイツ両国が EU の都市政策をどう捉えているのか、各国の担当者にヒアリングできればよかった。</p> |
| 調査研究の仕組みの妥当性 | <p>国土交通政策研究所、(財)民都機構及び有識者 2 名との連携の下、検討会、メーリングリスト等を活用することにより、活発な意見交換を行いつつ研究を進めることができた。また、現地調査においては、在外公館の協力を得ることにより、効率的な調査が可能となった。</p> |
| 成果と活用(予定) | <p>今回の調査研究内容は、今後、我が国の都市政策立案に際し、参考となるべき有益な視点が盛り込まれている。都市政策担当者等への情報発信として、調査報告書をまとめ、関係部局に配布するとともに、HP 上で公表し、希望者には報告書の配布、あるいは、HP 上での閲覧ができるようにする。さらに、当研究所が主催している政策課題勉強会において、調査を担当していただいた有識者による発表を予定している。</p> |
| その他 | |